



腐葉土を入れるための木枠の囲いづくり。くい打ち作業にも力が入る。



さあ 囲いができた。この中に腐葉土を入れていいよ。



今回作った産卵場所の隣には、7月に作っておいた調査のための産卵場所があり、この夏産卵し、幼虫が育っているかを調べてみた。



いたいた…。おそらく2度の脱皮をした3齢幼虫のようです。まるまると大きく育っていたね。そっと元にもどしてやろうね。



このあと幼虫たちは永い冬眠に入ります。そっと見守ってやろうね。来年の6月頃にはサナギ観察が、7月には成虫となって土から出てくるよ。楽しみに待てよう。イタチ・カラス除けに防虫網もかぶせておく。

今回の体験学習で学び取ってほしいことやみんなで話し合してほしいこと

- ◆ 大池小学校の周辺は、今もカブトムシが育っている場所だということはどういうことなのかな？ これからもすみつづけることができる場所にするには、どんなことに気を付けていけばいいかな？
- ◆ 他にもいろいろな生き物や草花が育っていると思うよ。あぶなくないところで、ときどき探してみよう。